

イトーレーター

高周波・負電荷治療器



添付文書

取扱説明書



管理医療機器
家庭用電位治療器（JMDNコード：70987000）
高周波・負電荷治療器 スーパーわかば
医療機器認証番号 219ACBZX00012000

目次

正しく安全にお使いいただくために

- 1. 一般的注意事項 …… 4
- 2. 使用前のご注意 …… 6
- 3. 使用中のご注意 …… 7
- 4. 使用後のご注意 …… 8
- 保管方法及び有効期間等 …… 8
- 取扱上のご注意 …… 9
- 保守・点検に係る事項 …… 10

構成内容

- 本体 …… 12
- 付属品、別売オプション品 …… 13

本体の各部名称とはたらき

主な特長

高周波—基本的な使用例

負電荷—基本的な使用例

電床マットの敷き方

電子療法について

高周波—使用順序

負電荷—使用順序

こんなときどうしたらいいの？

- 1. 出力を確認したい …… 28
- 2. エラーが表示される …… 28
- 3. パネルの明るさを調節したい …… 29
- 4. ブザー音を消したい …… 29

故障かな？と思ったら

お客様安心サービス

- 裏表紙
- 保証書とユーザー登録カードについて
- アフターサービス
- ISO認証取得
- 健康セミナー

このたびは「スーパーわかば」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。
- 治療器を人に貸したり、差し上げるときには必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。

禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

- 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- 心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人
- 金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ人
- 乳幼児（6才以下、異常に対して意思表示ができない危険があります）
- 適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人
- 頭部（脳、目、耳等）
- その他、医師が不相当と認めた人

併用禁忌

- ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 心電計などの装着形の医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 補聴器は外してください。
- 他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。使用する場合は時間をずらして使用してください。

- お客様や他の人への危害や、財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表わしていますので、内容を理解してから本文をお読みください。



危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害が想定される内容を示します。

表示例



は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。



愛情点検

修理点検の確認をお願いする絵表示です。

正しく安全にお使いいただくために

1. 一般的注意事項

⚠ 危険

⊘ 浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。

⊘ 電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。

例. 他の電位（高周波・負電荷を含む）
電床マット、電気毛布や敷布、電気カーペット

電気毛布や電床マットが焦げて火傷や火災などの恐れがあります。

⊘ 電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、電床マット同士を重ねた状態で使用しないでください。

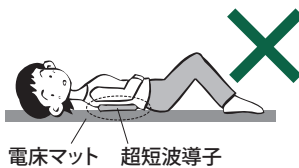
⊘ 電床マットや導子は、金属製のイスや湿った布団など電気を通しやすい物の上や下で使用しないでください。

⊘ 電床マットの上では、超短波（マイクロ波含む）を使用しないでください。

電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。



（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です）



⊘ 他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。

規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。



⊘ 補助を必要とする人（子供を含む）には使用させないでください（ただし、保護者、医師または専門家の監督下で使用する場合は除く）。また、子供が機器本体及び導子の上で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

⚠ 警告

⚠ 警告

⊘ 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。特にペットへの使用は避けてください。

⊘ 他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。

過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気毛布や電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。

⚠ 電床マットや導子が濡れていたり、湿っている場合は十分に乾燥させてから使用してください。ドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど急激な乾燥はしないで、陰干しなど自然に乾燥させてください。

⊘ 連続して8時間以上使用しないでください。

電源を入れたまま放置すると機器の寿命を縮めたり、事故の原因となります。

⊘ 電床マットや導子に金属を接触させたり出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、電床マットと導子のコードには金属類を近づけたり他の電気のコードと交わらないようにしてください。


感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。


⊘ 本体背面の通気孔をふさぐような使い方（布団の上に置いたり、布団をかぶせたり、壁に寄せるなど）はしないでください。


本体内部が熱をもち、故障の原因となります。





警告


-  本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。


本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用するときは移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。
-  交流100V、50/60Hz以外では使用しないでください。

規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。
-  コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。


タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をすると本器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。
-  定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。

操作を誤ると事故や故障の原因となります。
-  本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。

内部に水が入ると発火、ショートなどの事故や故障の原因となります。
-  本体の出力口に差し込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。





プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。
-  電源コードなどすべてのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。


警告


-  電源プラグなどすべてのプラグにゴミ、ほこりなどを付着させて使用しないでください。

発火、ショートの原因となります。

注意

-  本器は、一人用家庭用電位治療器であり、複数の人が同時に使用しないでください。
-  使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。
-  治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお求めの販売店またはお客様センター（裏表紙）に相談してください。
-  他の電気製品とはできるだけ（2m以上）距離をあけて使用してください。

他の電気製品に異常をきたしたり、逆に電気製品の影響で治療器に異常が発生する恐れがあります。
-  使用中は他の人や金属類に触れたり、リモコンや電話機を操作したりしないでください。

ピリッとしたり、ノイズを発生させたり、故障の原因となります。
-  梅雨期や湿気の多い地域では、電床マットや布団を十分乾燥させるなど、絶縁状態をできるだけよくしてください。絶縁状態が悪くなると効果が弱まります。

正しく安全にお使いいただくために

2. 使用前のご注意

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

- 警告**
- ❗ 病名などがはっきりしない人
 - ❗ 悪性腫瘍のある人
 - ❗ 心臓に障害のある人
 - ❗ 妊産婦
 - ❗ 体温38℃以上（有熱期）の人
例1) 急性炎症症状【倦怠感、悪寒、
血圧変動など】の強い時期
例2) 衰弱しているとき

- 警告**
- ❗ 安静を必要とする人
 - ❗ 血管障害の恐れのある血圧異常の人
 - ❗ 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性【疼痛性】疾患の人
 - ❗ 寝たきりの人
 - ❗ その他医師の治療を受けている人や
身体に異常を感じている人

1時間以上使用する場合、次の人は、医師と相談の上使用してください。

- 警告**
- ❗ 高血圧の人
 - ❗ 不整脈のある人

- 警告**
- ❗ 睡眠時無呼吸症の人
 - ❗ 喘息の人

次の人は介護者のもとでご使用ください。

- 警告**
- ❗ マヒなどで身体の自由が利かない人

- 警告**
- ❗ 7～12歳の子供

次のような人や部位への適用を慎重にしてください。

- 警告**
- ❗ 認知症の人や、意思表示ができない人
 - ❗ 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人
 - ❗ 睡眠薬を飲んだ人（判断能力を欠き事故の原因となります）
 - ❗ 次のものを身に付けたまま使用しないでください。
 - 使い捨てカイロ
 - 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
 - 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン®繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサン

- 警告**
- ダーロン®繊維を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）
- また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。
- 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
 - 磁気入り布団
 - 墨入り（炭素材など）の畳
 - ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳
- 火傷または熱傷などの事故の原因となります。
- 注意**
- ⊘ 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。

警告

❗ 全てのコードは容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。発火やショートなどの原因となります。

💖 愛情点検
しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

❗ 導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクタの接続不良などが無いが、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。販売店または製造販売元へお問い合わせください。

❗ 電床マットや導子を使用する際は、正しく装着してください。

注意

❗ スイッチ、タイマーが、正常に作動するか確認してください。

注意

❗ 導子が濡れている場合には、使用しないでください。

❗ 絶縁方法に注意を要する場合もあるので、取扱説明書で指示している方法で使用してください。

❗ 他の治療器の近くでは、使用しないでください。特に超短波（マイクロ波含む）治療器の近くで使用しますと、ごくまれに誤作動やエラー表示する場合があります。

その場合は再度電源を入れ直して使用してください。

❗ ごくまれに使用時に漏電ブレーカーが誤作動し、テレビやラジオなどに雑音が入ることがあります。また部屋の絶縁が悪いと出力が止まることもあります。この場合はアース端子を電源コンセントのアースに接続してください。詳細はお買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

3. 使用中のご注意

警告

❗ 本器に異常を感じたとき（異常音がる・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

❗ 身体に異常を感じたり、現れたとき（発赤など）は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

症状が悪くなることがあります。

❗ 治療目的にあった治療時間・量を超えないように注意してください。

❗ 雷や地震、停電時は使用を中止し、電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。

警告

❗ アースバンドは、天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。また、腕に巻くときは、かぶれや炎症などのある部位は避けてください。

❗ 粘着パッドを使用し身体に異常を感じたり、発疹、発赤、かゆみなどが現れたりした場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

正しく安全にお使いいただくために

4. 使用後のご注意



警告

- 電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- コードの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。



- 本体、付属品などは次回の使用に支障がないように清浄にし、整理保管してください。

- 電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。



注意

- 使用中断する場合や使用後は必ず電床マットや導子、接続コードのプラグを本体から抜いてください。

電源プラグもコンセントから抜くなど、使用前の状態に戻してください。

- 本体のお手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどもしないでください。

変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

- 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保守・点検に係る事項」を参照してください。

保管方法及び有効期間等

保管場所については次の事項に注意してください。
故障の原因になることがあります。



注意

- 温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより品質に悪影響を及ぼす恐れのない場所に保管してください。

機器の寿命を縮め、火災や感電などの原因となります。

- 長期間ご使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- お子様の手の届かない所に保管してください。

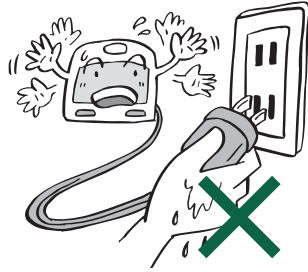
落としてけがや破損の原因となります。

取扱上のご注意

警告

- 濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。

感電の原因となります。



- 機器を他の物にぶついたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。そのときに異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。

誤って落とした場合は必ず点検を受けてください。

- 機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

- 本体ケースは絶対に開けないでください。内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

- 間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となる場合があります。

警告

- 電床マットや導子は、強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。

- ナフタリンなどの防虫剤と一緒に保管しないでください。

- 一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。

点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。

注) 販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに、中古医療機器を取り扱う場合は、「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。

- 本体や付属品が傷ついたり破損している場合は、使用しないでお買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

注意


- 電床マットや導子にアイロンをかけたり、アイロン台の代わりにしないでください。

正しく安全にお使いいただくために

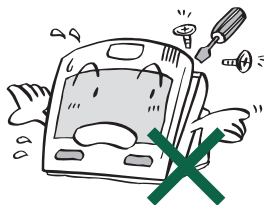
保守・点検に係る事項


1. 機器の故障及び改造に関する注意事項

警告

 本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。

故障かなと思ったら使用を中止し、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。




 アースバンドの汚れは、水または薄めた石けん水で生地を傷めないように手もみ洗いしてください。(月に1度までとする)

石けん水で洗った場合はかぶれの恐れがあるので、よくすすいでください。洗った後は、水分をタオルで拭き取り、日陰干しでよく乾かしてください。

直射日光にあたるとゴム部分が特に傷み、ボロボロになることがあります。


注意


 本体のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。

アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。

2. 使用者による保守点検事項


警告

 機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。

 事前のチェックや点検などで不具合が見られた場合は必ず取扱店または製造販売元にご連絡ください。


例) 付属品の絶縁、電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかり、電源プラグやコネクタ一の接続不良など。

警告

 しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。


3. 業者による保守点検事項

注意

 性能を維持し、安全に使用するため、定期的(1年を目安)にお求めいただいた取扱店または製造販売元に「定期点検」を依頼してください。



注意

 消耗部品(付属品を含む)は定期的(3年を目安)に交換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

保守・点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による

交換部品及び消耗品

名称	交換方法	交換時期
電床マット <small>でんしょう</small>	販売店または製造販売元に依頼	<ul style="list-style-type: none"> • 購入から3年が目安 • 点検により劣化が認められたとき
アースバンド	販売店または製造販売元に依頼	
アース接続コード	販売店または製造販売元に依頼	
装着ベルト <small>そうちやく</small>	販売店または製造販売元に依頼	<ul style="list-style-type: none"> • 点検により劣化が認められたとき
粘着パッド <small>ねんちやく</small>	販売店または製造販売元に依頼	<ul style="list-style-type: none"> • 粘着力が弱まったと感じたとき

粘着パッドの模倣品に対するご注意

安全に製品をご使用いただくために、弊社で品質管理を実施しております純正の粘着パッドをご使用くださいますようお願い申し上げます。弊社では模倣品が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合等につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本件については<お客様センター>までお問い合わせください。

<お客様センター>TEL：048-254-1019 受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

構成内容

本器を初めてご使用になる前に、以下の

本 体

※本体の各部名称とはたらきについては、P.14～15をご覧ください。



製 品 名	高周波・負電荷治療器 スーパーわかば
定 格 電 源	AC100V 50Hz/60Hz
消 費 電 力	15W
高周波時最大出力	800V
負電荷時最大出力	-200V
タ イ マ ー	0～8時間
本 体 寸 法 (mm)	270(高さ)×320(幅)×175(奥行)
本 体 重 量	約 3 kg

付属品が揃っているか必ずご確認ください。

付 属 品

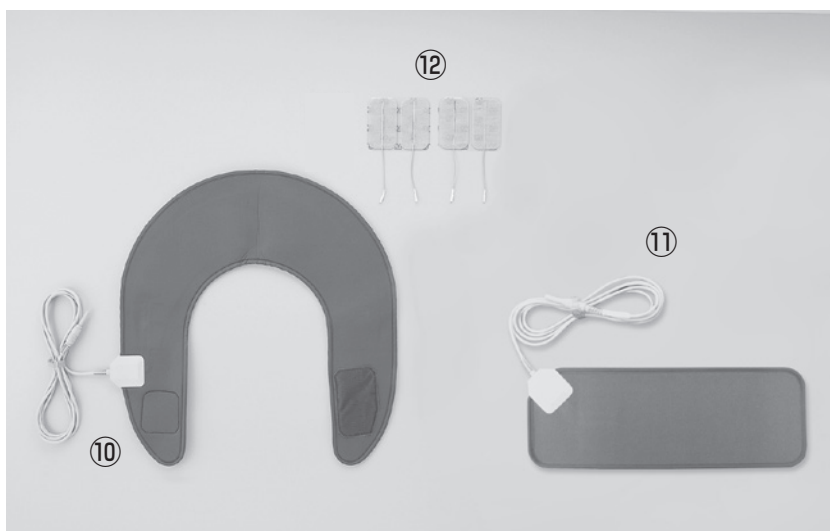


品 名	個数	注文番号
①電床マット〈L・緑〉	1個	011672
②電床マット〈S・緑〉	1個	011673
③アース接続コード〈ホック型〉	1個	011697
④アース接続コード〈白・ピン型〉	1個	011698
⑤アースバンド	1個	011696
⑥装着ベルト〈L〉	1個	011688
⑦装着ベルト〈S〉	1個	011687
⑧粘着パッド〈M・Aタイプ〉	1袋	011681
⑨粘着パッド貼付台紙	1個	250516

- 取扱説明書
- 簡単スタートガイド
(高周波編・負電荷編)

※付属品などに不足があった場合、販売店または製造販売元までご連絡ください。

別 売 オ プ シ ョ ン 品



品 名	注文番号
⑩局所導子〈肩用〉	011675
⑪関節導子〈腰・肘膝用〉	012246
⑫粘着パッド〈L・Aタイプ〉	011075

※局所導子・関節導子は主に局所の治療に使用します。

- 粘着パッドの取扱説明書文中及びスタートガイドでの表記について
本文及びスタートガイドでは、「粘着パッド」と記述しています。

本体の各部名称とはたらき

高周波治療

- 治療スイッチで「一定」または「変化」を押すと治療モード表示が点灯します。

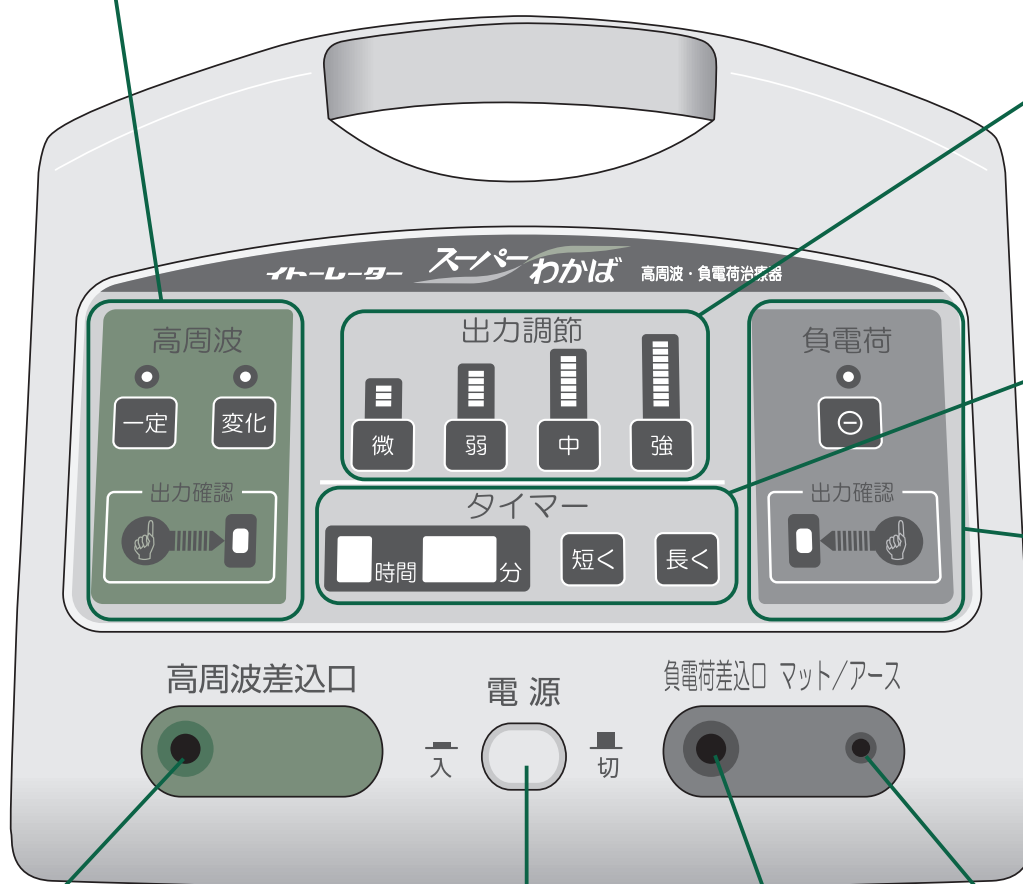
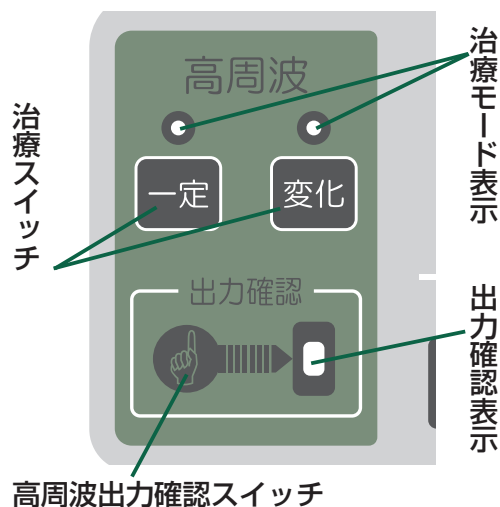
一定 … 選んだ出力を連続して通電します。

変化 … 選んだ出力の範囲内で出力値が変化します。高周波刺激の慣れを防ぎ効果を持続させます。

※詳しくはP.16をお読みください。

- 出力確認スイッチで、高周波が正しく出力されているか確認できます。

※P.28の「出力を確認したい」をお読みください。



高周波差入口

- 電床マット（または別売の導子）のプラグを高周波差入口に差し込みます。

電源スイッチ

- スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。
- 電源が入るとタイマーが「0分」を表示し、出力調節のランプ（微）が点灯します。



「入」の状態



「切」の状態

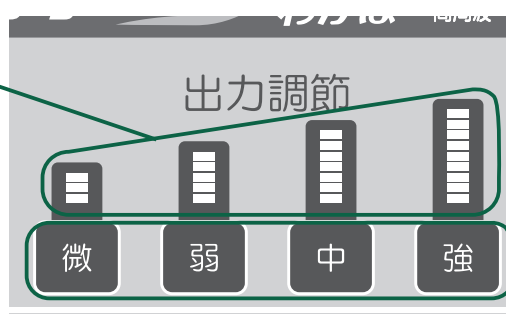
負電荷差入口 マット / アース

- 電床マット（または別売の導子）のプラグを左のマット差入口に差し込みます。
- アース接続コード（ピン、もしくははック）のプラグを右のアース差入口に差し込みます。

出力調節

- 電源スイッチを押すと、「微」の出力表示が点灯します。
- **微** 以外の出力に変更する場合は、出力調節スイッチで選びます。
- 選んだ出力表示が点灯します。

(通電中の出力値を表す)



※プラグが正しく差し込まれていないと、出力調節スイッチを押しても作動しません。詳しくはP.31をお読みください。

タイマー

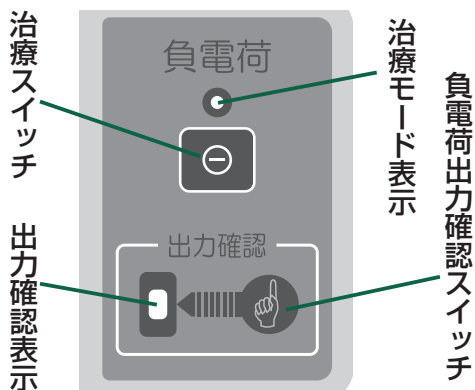
- 出荷時は30分が初期設定されていますが、それ以降タイマーを変更してご使用になると、高周波・負電荷の治療でそれぞれ前回設定した時間が表示されます。
- 治療時間を変更する場合はタイマースイッチを押します。一回押すごとに次のように変わります。
 - 長< : 30分→1時間→2時間→4時間→8時間
 - 短< : 8時間→4時間→2時間→1時間→30分
- 30分以下は5分刻みで設定できます。



注) タイマーが「0分」になると出力は停止し、「タイマースイッチ」を押しても時間設定ができません。時間を変更する場合は再度「治療スイッチ」を押してください。

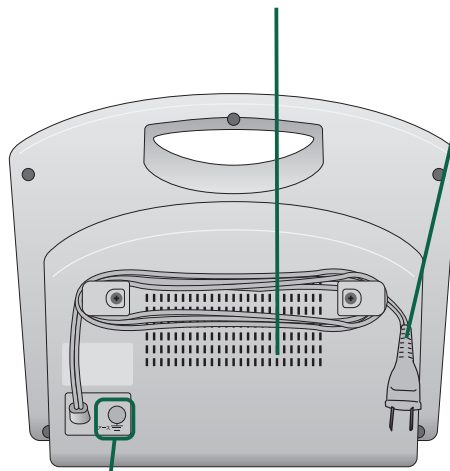
負電荷治療

- 治療スイッチ **⊖** を押すと治療モード表示が点灯します。
 - 出力確認スイッチで、負電荷が正しく出力されているか確認できます。
- ※詳しくはP.28をお読みください。



背面

通気孔 布団をかぶせたり、壁に寄せたりして通気孔をふさがないでください。本体内部が熱をもち、故障の原因となります。



電源コード(プラグ)

家庭用コンセント(100V)にプラグを差し込みます。使用しないときは必ずコンセントから抜いてください。電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

アース端子

使用時に漏電ブレーカーが誤作動し、テレビやラジオなどに雑音が入ることがあります。また部屋の絶縁が悪いと出力が止まることもあります。この場合はアース端子を電源コンセントのアースに接続してください。詳細は販売店または製造販売元にご相談ください。

主な特長

1 スーパーわかばの「使用目的又は効果」

7万Hzの周波数を利用した「高周波治療」と、マイナスの電子を身体に作用させる「負電荷治療」が一台で行えます。

〈使用目的又は効果〉：頭痛、肩こり、不眠症及び慢性便秘の緩解

使用目的：一般家庭で使用すること



頭痛



肩こり



不眠症



慢性便秘

2 7万Hzの「高周波治療」(一定・変化)

高周波のエネルギーが全身を包み込み、皮膚表面をやさしく刺激します。安定した刺激が続く「一定」モードと、プログラムされた出力が自動的に変わる「変化」モードが選べます。

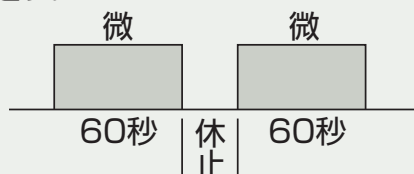
「変化」の出力について

※出力は全て「微」からはじまります。

出力が変化しても、出力表示は変化しません。「微」～「強」の選択した出力表示が点灯し続けます。

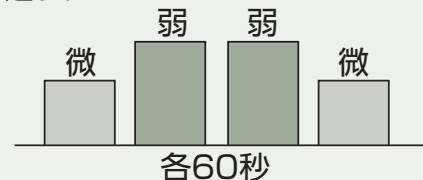
微を選択

微が60秒間出力し、6秒休止。
これを繰り返す。



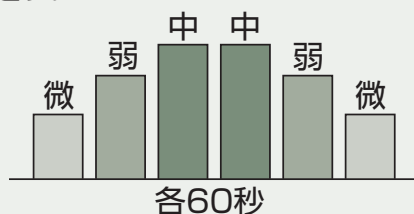
弱を選択

微と弱が60秒ずつ出力し、6秒休止。
これを繰り返す。



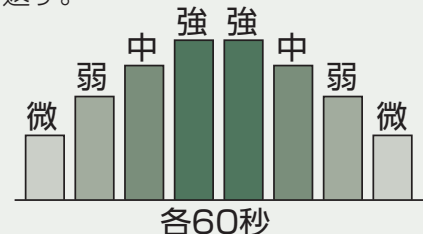
中を選択

微と弱と中が60秒ずつ出力し、3秒休止。
これを繰り返す。



強を選択

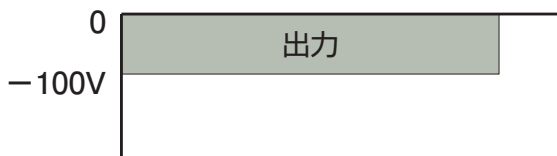
微と弱と中と強が60秒ずつ出力し、3秒休止。
これを繰り返す。



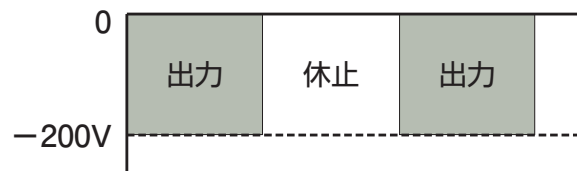
3 パルス発振の「負電荷治療」

- パルス式は従来品と比べ、瞬間的に約2倍の負電荷エネルギーが出力されます。
- 高い出力ほど人体にマイナス電子が作用し、より高い治療効果が得られます。

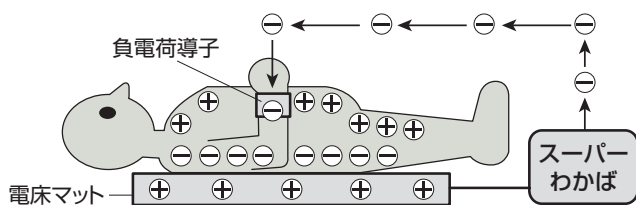
◆従来品



◆パルス式（断続式）



(マットを基準にした電位差です)



⊖の電子が⊕極に引き寄せられて作用します。

4 使いやすく操作もカンタン

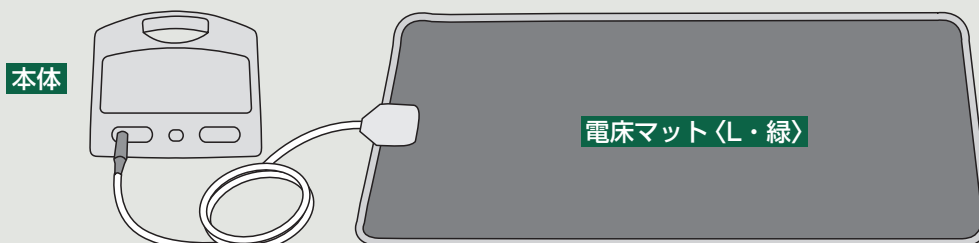
- 座って使っても、横になりながら使っても、操作しやすいパネル角度になりました。
- 高周波はオレンジ、負電荷はグリーンで治療選択を色分け、大きな操作ボタンやパネル文字など、分かりやすく、使いやすいデザインになっています。
- 軽くて、取手も付いているので、部屋から部屋への移動もラクラクです。いつでも手軽にお使いいただけます。



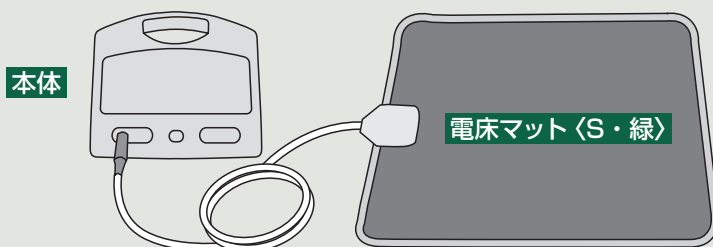
高周波—基本的な使用例

全身治療

電床マットを敷いて、その上で治療します



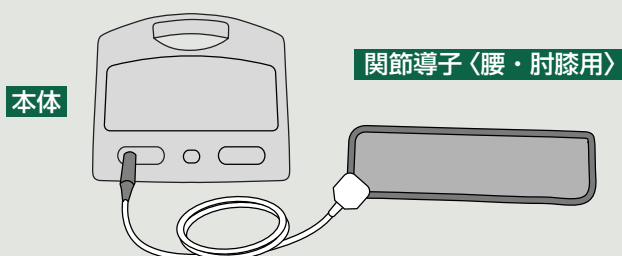
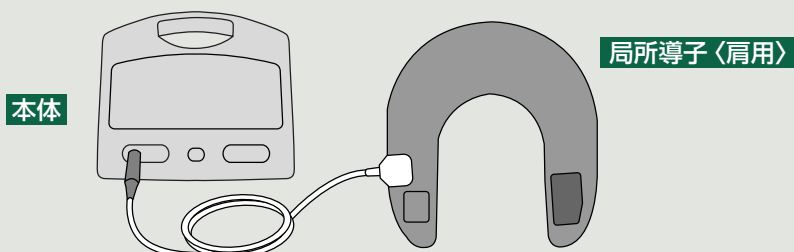
布団やベッドでくつろぎながら治療する場合は電床マット〈L・緑〉を使用してください。



イスなどに座りながら治療する場合は電床マット〈S・緑〉を使用してください。

局所治療

患部に導子（別売オプション品）を巻きつけて治療します



関節導子〈腰・肘膝用〉を使用する場合は、緑色（メッシュ生地）の面を患部にあてるようにしてください。

普通荷電法



出力：中（使用当初は弱く）
時間：1時間以内

- 7万Hzの高周波エネルギーが全身を包み込み、皮膚表面をやさしく刺激します。
- 電床マットでの治療は全身に作用する治療法です。
- 安定した刺激の「一定」と、出力を自動的に変えて身体の慣れを防ぐ「変化」が選べます。

※P.16「変化の出力について」をお読みください。

長時間荷電法



出力：微～弱（使用当初は弱く）
時間：6～8時間（使用当初は短く、30分から）

横になりながら治療する場合は、身体の下に電床マットを直接敷かず、必ず電床マットの上にシーツなどを敷いてください。

※写真は治療法をわかりやすく説明するため、電床マットの上にシーツは敷いていません。

- 局所導子〈肩用〉、関節導子〈腰・肘膝用〉を使用することで患部に直接作用し、効率よく治療効果を引き出します。

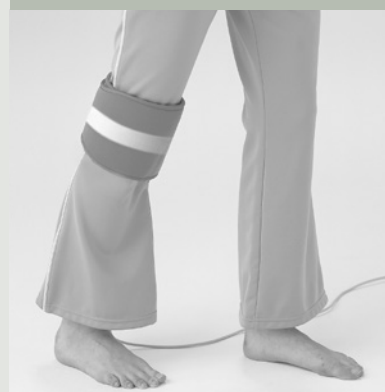
肩 局所導子〈肩用〉



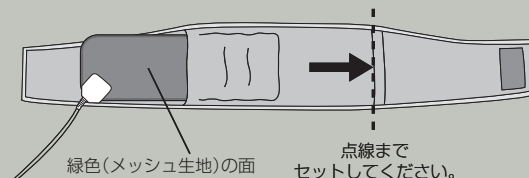
腰 関節導子〈腰・肘膝用〉



膝 関節導子〈腰・肘膝用〉



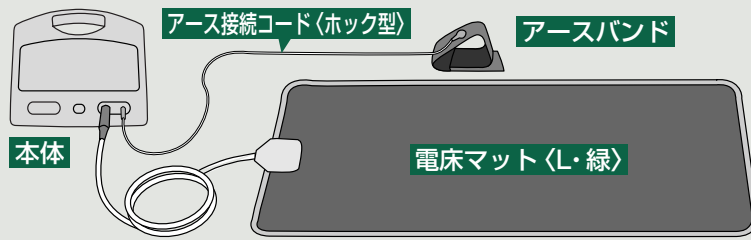
関節導子〈腰・肘膝用〉をサポートベルトにセットすると、より身体に密着させて使用できます。



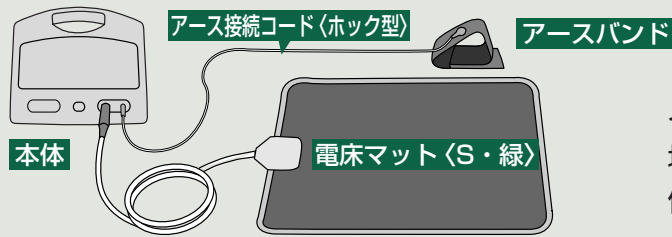
負電荷 — 基本的な使用例

全身治療

アースバンドと電床マットで治療します



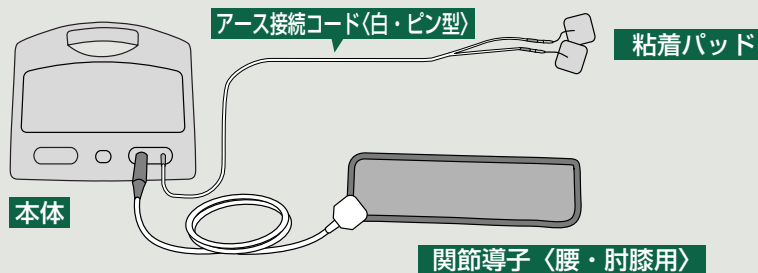
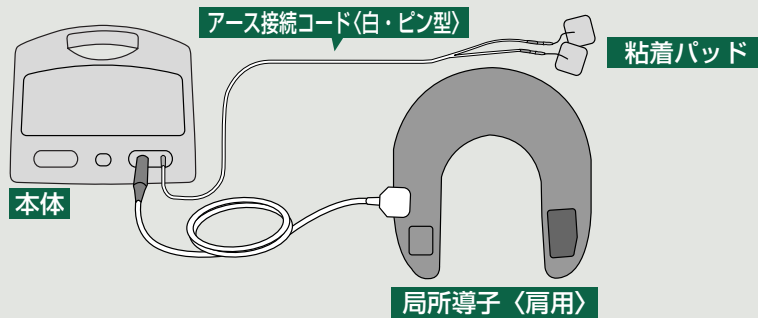
布団やベッドでくつろぎながら治療する場合は電床マット<L・緑>を使用してください。



イスなどに座りながら治療する場合は電床マット<S・緑>を使用してください。

局所治療

粘着パッドと導子（別売オプション品）で治療します



関節導子<腰・肘膝用>を使用する場合は、緑色(メッシュ生地)の面を患部にあてるようにしてください。

警告 粘着パッドについて

- 湿布や絆創膏などの粘着物によりかぶれやすい方は注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 傷のある皮膚には使用しないでください。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症などをおこした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドを使用した際に、発疹・発赤・かゆみなどが現れたときは直ちに使用を中止し、販売元にご相談ください。
- 粘着パッドを使用するとき、金属物（ネックレス、ベルト、時計など）と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドは互いに重ならないように貼ってください。
- 粘着パッドを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。

貼った部分に隙間があると刺激が強くなり痛みを感じ、場合によっては火傷などの皮膚障害をおこす恐れがあります。

- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、粘着パッドが付きませんので皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 粘着パッドを透明フィルムや皮膚から剥がすときは、パッドの端を摘んでゆっくり持ち上げてください。コード部を持って剥がすようなことはしないでください。
- 粘着パッドを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 粘着パッドの使用後は元の透明フィルムに戻し袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッド

普通荷電法



出力：中（使用当初は弱く）
時間：1時間以内

- マイナスの電子が全身に作用し、安定したマイナス電子の効果を得られます。
- アースバンドを腕にセットしてから、電床マットの上で治療を開始してください。

長時間荷電法



出力：微～弱（使用当初は弱く）
時間：6～8時間（使用当初は短く、30分から）

横になりながら治療する場合は、身体の下に電床マットを直接敷かず、必ず電床マットの上にシーツなどを敷いてください。

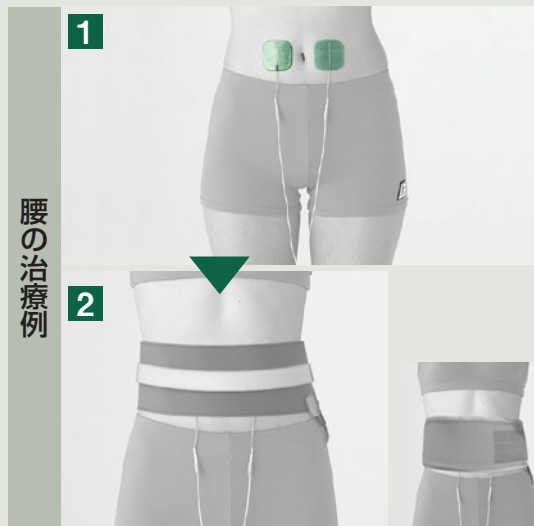
※写真は治療法をわかりやすく説明するため、電床マットの上にシーツは敷いていません。

- 粘着パッドと導子を使用することで、エネルギーが患部により集中して作用し、効率よく治療効果を引き出します。

- 1 患部に粘着パッドを貼り付けます。
写真のように患部、または患部を挟むように（膝）粘着パッドを貼り付けてください。
- 2 その上から別売の導子を巻き付けます。
写真のように導子の中心が患部にあたるように巻き付けてください。



肩の
治療例



腰の
治療例



膝の
治療例

ドは使用しないでください。

- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下したら交換してください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドをそのまま使用したり、テープ・バンド・下着などで固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷などの皮膚障害をおこす恐れがありますので、おやめください。
- 安全に製品をご使用いただくために、製造元で品質管理を実施しております。純正の粘着パッドをご使用ください。模倣品の使用が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合などにつきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

アースバンドについて

- アースバンド及びアース接続コードは消耗品です。下記のような場合は早めに交換してください。
 - ・各ホックのメッキがはがれる
 - ・バンドの裏が黒から白に変色する
 - ・バンドにシワがよる
 また遅くとも3年以内で早めに交換してください。

電床マットの敷き方

下記の例を参考に敷いてください。 *マットは、緑色の面を上にして敷きます。

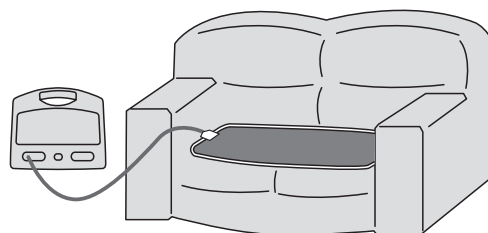
イスの場合

金属製のイスを使用すると、電気エネルギーが逃げてしまいます。木製のイスを使用してください。



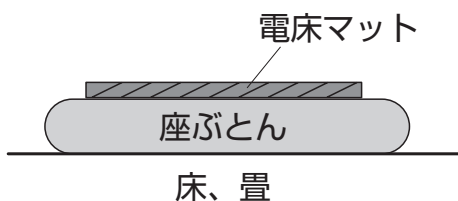
ソファの場合

表面が布、皮革やビニール製品以外の上では使用しないでください。



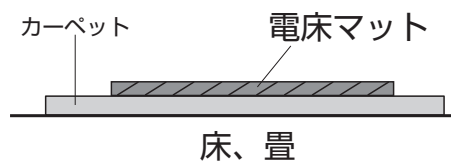
床・畳の場合

座布団の上に敷いてください。



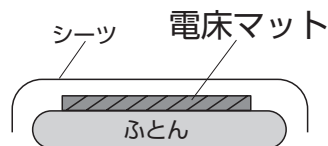
カーペットの場合

電気カーペットの上では絶対使用しないでください。毛足の長いカーペットも避けてください。



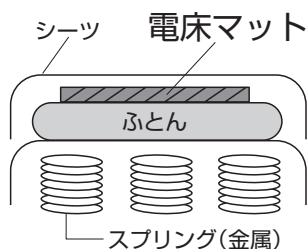
布団の場合

布団とシーツの間に敷いてください。



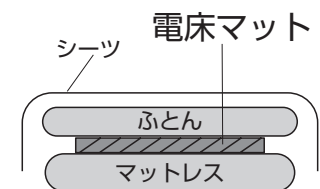
ベッドの場合

布団とシーツの間に敷いてください。布団や厚手のベッドパッドを敷いてください。



マットレスの場合

ゴワゴワと異物感のある場合、布団とマットレスの間に敷いてください。



- 布団に敷く場合は乾燥した布団を使用してください。
- 電気を通しやすい物（金属製の物、湿気のある物）の上や下には敷かないでください。
- 身体から金属製の物（貴金属やアクセサリなど）を外してください。
- 電床マットの上では絶対に超短波治療器を使用しないでください。
- 横になりながら使用する場合は身体の下に電床マットを直接敷かず、必ず電床マットの上にシーツなどを敷いてください。また、汗などで身体が濡れている場合は、よく拭いてからご使用ください。長時間湿気のコモった状態が続きますと、火傷や事故の原因となります。

電子療法について

電気生理学に基づいた電子療法は、身体にやさしく作用する治療法です。いきなり長時間で使用されても効果が増すというものではありません。徐々に身体を慣らしていくことが大切です。下の表を参考に、はじめの頃は「時間は短め」に「出力は弱め」にして行ってください。

1日 →	1週間 →	2週間 →	3週間 →	1ヶ月 ----->
ステップ1 出力：微 30分	ステップ2 出力：弱 1時間	ステップ3 出力：弱 2時間	ステップ4 出力：弱 4時間	ステップ5 出力：弱 6～8時間 または 出力：中～強 3時間

使用当初は一時的に頭痛・倦怠感・ふしぎしの痛みなどを感じることがあります。その場合は治療を2～3日休み、一つ前のステップから始めてください。特にこの症状は低血圧、貧血、虚弱体質の方に出やすいので、必ず最初は30分位から始めてください。それでも身体のだるい方は下記の「お客様センター」にご相談ください。

電話相談を実施しています

お気軽にお問い合わせください。

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

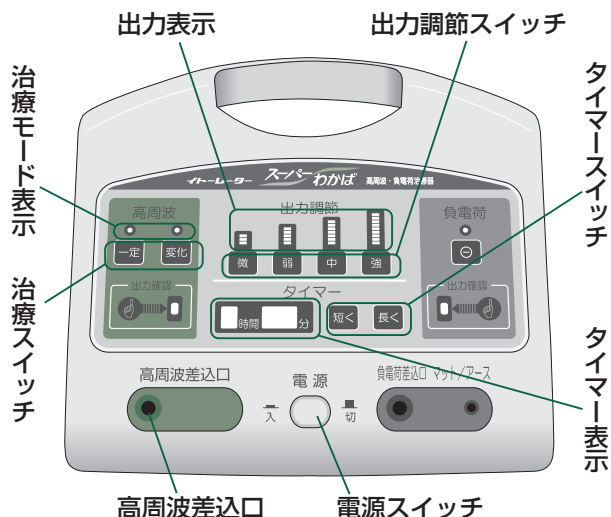
お客様センター TEL.048 (254) 1019

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

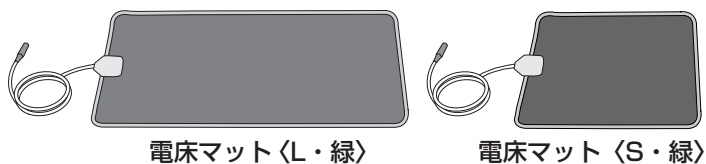
※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。
ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。



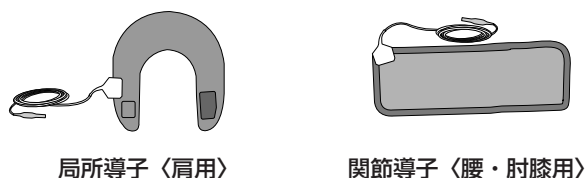
高周波—使用順序



● 標準付属品



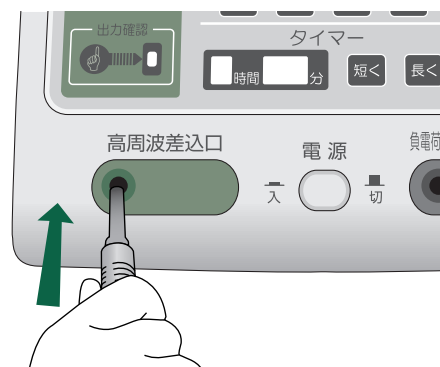
● 別売オプション品



1 電源プラグを差し込む

2 電床マットのプラグを差し込む

- 使用する場所に電床マットを敷いてその上で治療するか、導子を患部に巻いて治療します。
- 電床マット、もしくは導子のプラグをオレンジ色の「高周波差込口」に差し込みます。



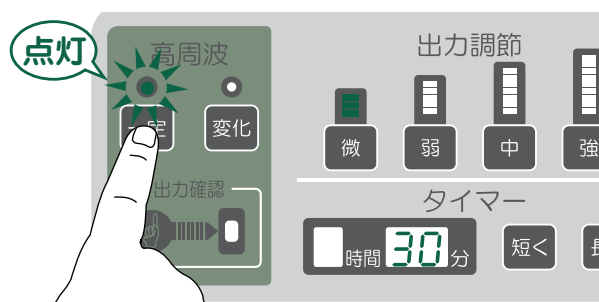
3 電源を入れる

- 電源スイッチをしっかりと押して () 電源を入れます。
- タイマーが「0分」を表示し、出力表示の「微」が点灯します。



4 治療モードを選ぶ

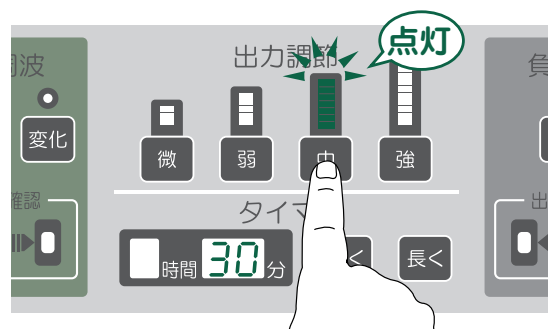
- 治療スイッチで **一定** または **変化** を選びます。
- 選んだ治療表示が点灯します。
- タイマーが「30分」を表示します。



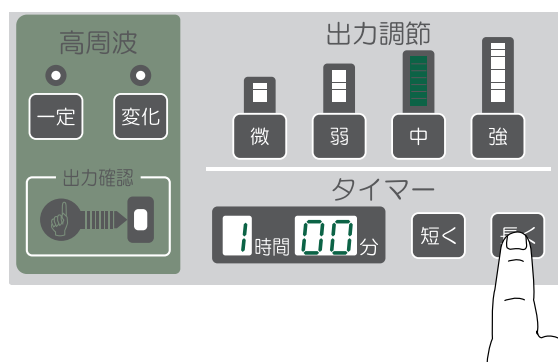
5 出力を選ぶ

- 「微」の出力が初期設定されています。
- 「弱」「中」「強」に設定する場合は、希望する出力調節スイッチを押します。
- 選んだ出力の出力表示が点灯します。

※出荷時は30分が初期設定されています。それ以降タイマーを変更してご使用になると、高周波・負電荷の治療でそれぞれ前回設定した時間が表示されます。



6 タイマーを設定する



- タイマースイッチで治療時間を変更することができます。

- 「長く」を押すとタイマー表示が次のようになります。

30分→1時間→2時間→4時間→8時間

- 30分以上の状態では「短く」を押すと、タイマー表示が次のようになります。

8時間 →4時間→2時間→1時間→30分----->

※30分以下は5分刻みで設定できます。

※ 「短く」を押してタイマーを「0分」にしてから終了すると、次回使用する際、タイマーは「5分」を表示します。

中断する場合 ●電源スイッチを押して（の状態）電源を切ります。

- 再度、使用する場合は**3**から始めてください。

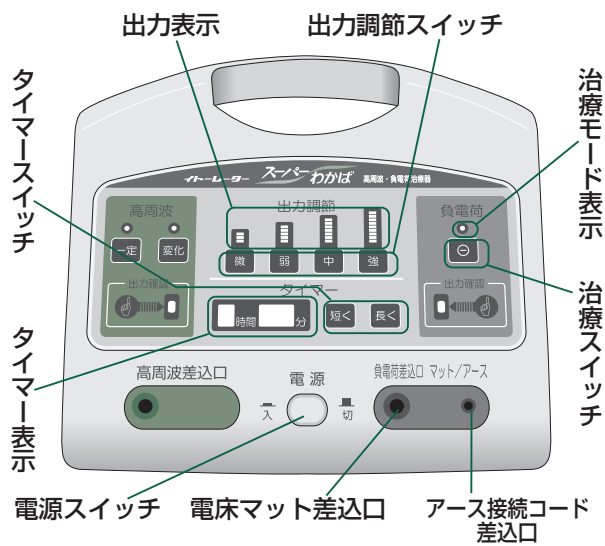
7 治療の終了と延長

- タイマー表示が「0分」を表示すると、出力表示は「微」になり、治療モード表示が消えて、出力が自動的に切れます。
- 引続き治療を行う場合は、**4**から始めてください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して電源を切り、電床マットもしくは導子のプラグを差入口から抜きます。

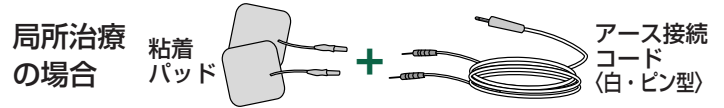
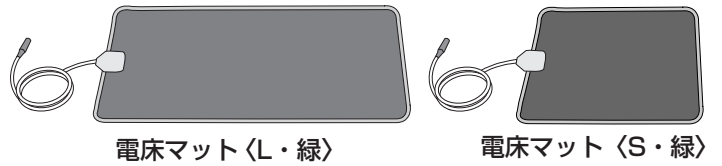


8 電源プラグを抜く

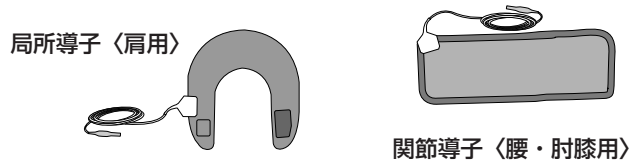
負電荷—使用順序



● 標準付属品



● 別売オプション品



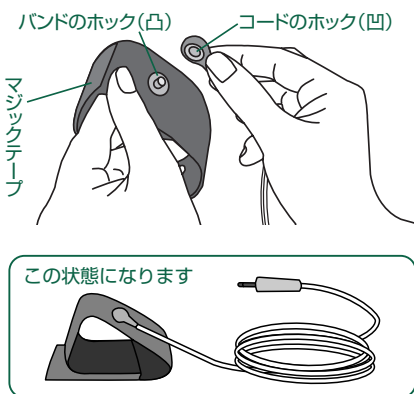
1 電源プラグを差し込む

- 電源スイッチが「切」になっていることを確認して、プラグをコンセントに差し込みます。

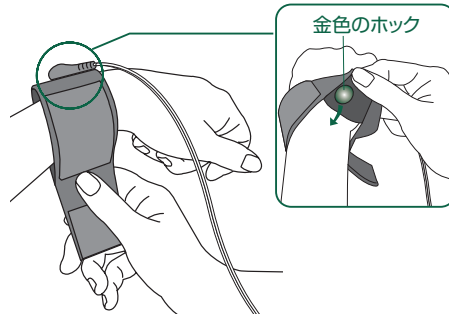
2 アース接続コードを準備する

【全身治療の場合】

- 1 アース接続コード〈ホック型〉とアースバンドを接続します。ホックの凸と凹を合わせます。

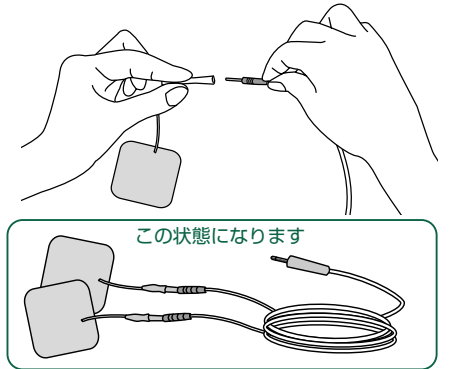


- 2 アースバンドは手首にセットし、マジックテープで固定します。その際、内側にある金色のホックが肌にあたるようにセットします。



【局所治療の場合】

- 1 アース接続コード〈白・ピン型〉に粘着パッドを2枚接続します。

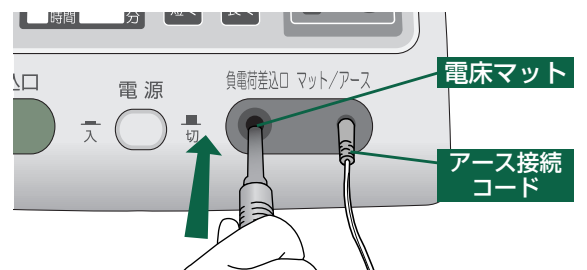


- 2 粘着パッドを患部に貼り付けます。


※詳しくはP.21をお読みください。

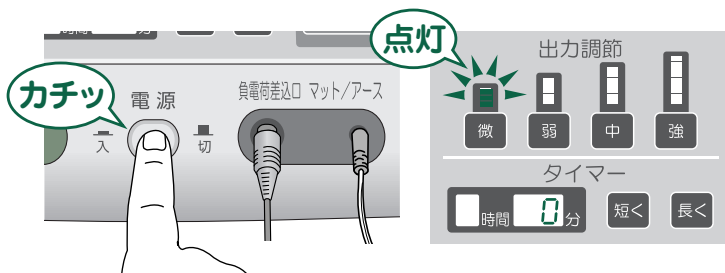
3 各プラグを差し込む

- 使用する場所に電床マットを敷いてその上で治療するか、導子を患部に巻いて治療します。
- 電床マット、2で準備したアース接続コードの各プラグを緑色の「負電荷差込口」にそれぞれ差し込みます。




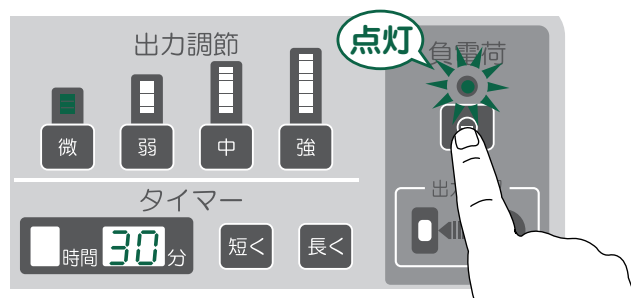
4 電源を入れる

- 電源スイッチをしっかりと押して（）電源を入れます。
- タイマーが「0分」を表示し、出力表示の「微」が点灯します。



5 治療を開始する

- アースバンド、もしくは粘着パッドを身体にセットしてから、治療スイッチ  を押します。
- 負電荷の治療モード表示が点灯します。
- タイマーが「30分」を表示します。

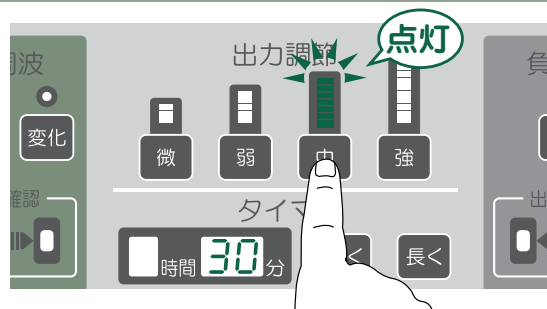


※出荷時は30分が初期設定されています。

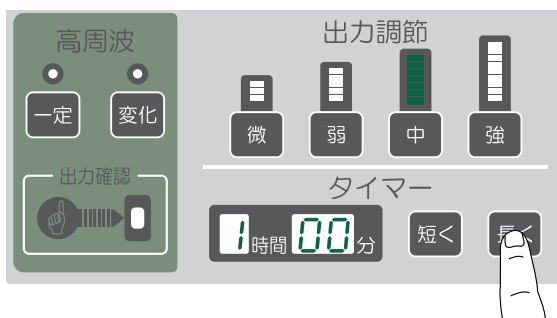
それ以降タイマーを変更してご使用になると、高周波・負電荷の治療でそれぞれ前回設定した時間が表示されます。

6 出力を選ぶ

- 「微」の出力が初期設定されています。
- 「弱」「中」「強」に設定する場合は、希望する出力調節スイッチを押します。
- 選んだ出力の出力表示が点灯します。



7 タイマーを設定する



- タイマースイッチで治療時間を変更することができます。

- 長< を押すとタイマー表示が次のようになります。

30分→1時間→2時間→4時間→8時間

- 30分以上の状態では短< を押すと、タイマー表示が次のようになります。

8時間 →4時間→2時間→1時間→30分----->

※30分以下は5分刻みで設定できます。

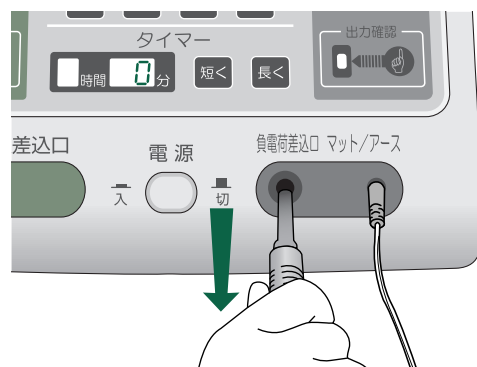
※短< を押してタイマーを「0分」にしてから終了すると、次回使用する際、タイマーは「5分」を表示します。

中断する場合

- 電源スイッチを押して（ の状態）電源を切ります。
- 再度、使用する場合は **4** から始めてください。

8 治療の終了と延長

- タイマー表示が「0分」を表示すると、出力表示は「微」になり、治療モード表示が消えて、出力が自動的に切れます。
- 引続き治療を行う場合は、**5** から始めてください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して電源を切り、各プラグを差込口から抜きます。



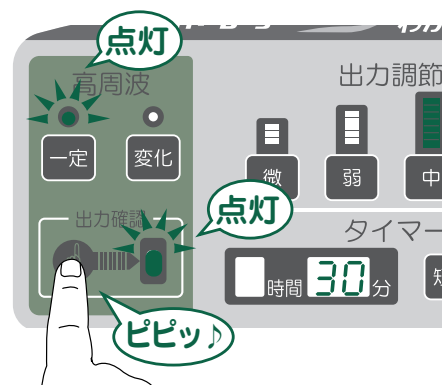
9 電源プラグを抜く

こんなときどうしたらいいの？

1. 出力を確認したい

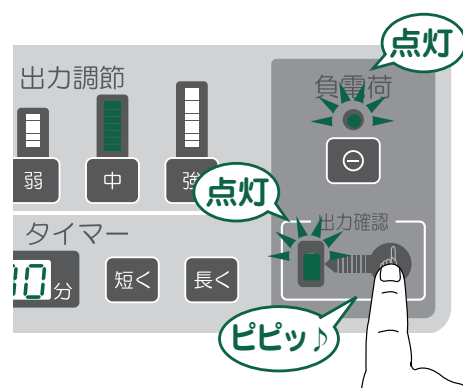
■高周波の出力確認法・出力確認スイッチで確認

- ① 高周波治療を行っている際に、「出力確認スイッチ」を押してください。
- ② 高周波が正しく出力されていると、出力確認スイッチを押している間、「出力確認表示」が点灯し、音が鳴ります。



■負電荷の出力確認法・出力確認スイッチで確認

- ① 負電荷治療を行っている際に、「出力確認スイッチ」を押してください。
- ② 負電荷が正しく出力されていると、上記同様「出力確認表示」が点灯し、音が鳴ります。



2. エラーが表示される

高周波出力中に、何らかの原因で出力系統にエラーが発生し、内部検出回路がこれを検知すると、「ピー」*という警告音とともに出力が停止し、タイマー表示に「E」のエラーが表示されます。

*ブザー音「切」が設定されている場合は、警告音は鳴りません。詳しくはP.29をお読みください。



状況	対応
<ul style="list-style-type: none">○「ピー」という警告音とともに出力が停止する。○電源以外のすべての操作ボタンが無効となる。	電源スイッチを押して、電源を「切」の状態にした後、再度電源スイッチを押して「入」の状態にする。

上記の対応をされてもエラー表示する場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

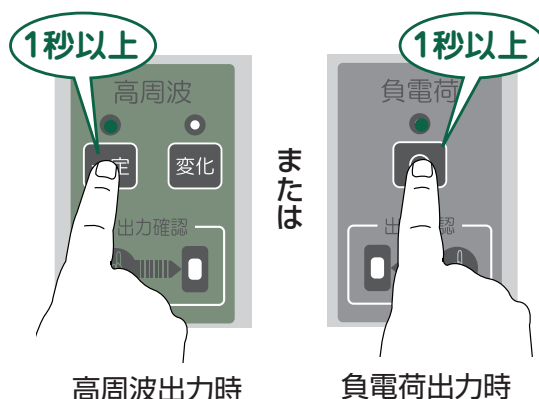
3. パネルの明るさを調節したい

- ① 高周波または負電荷の出力中に、治療モード表示が点灯している治療スイッチを、1秒間以上押してください。
- ② 表示の明度が、「明」 ↔ 「暗」 に変化（2段階変化）します。

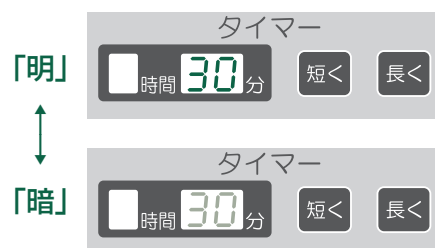
- 現在の表示明度が「明」 → 上記操作 → 表示明度「暗」
- 現在の表示明度が「暗」 → 上記操作 → 表示明度「明」

この設定は、本操作を再度行わない限り、電源を切っても最後に設定した明度で表示されます。

※出荷時は表示明度「明」が初期設定されています。

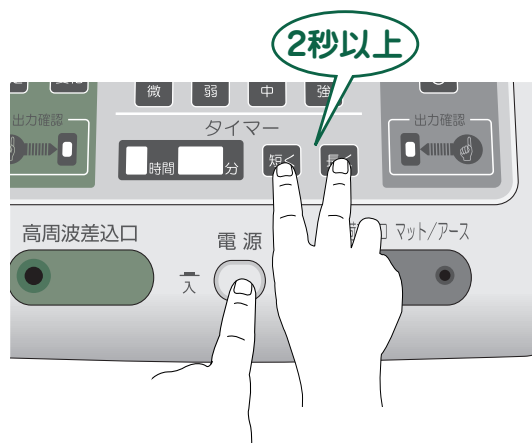


各表示の明度が反転します
例：タイマー表示



4. ブザー音を消したい

- ① 電源「切」の状態ですりタイマーの「短く」「長く」のタイマースイッチを同時に押したまま、電源スイッチを押して電源を「入」にしてください。
- ② 電源を「入」にしてから、2秒以上「短く」「長く」ボタンを同時に押し続けると、ブザー音「切」が設定されます。



「切」に設定したブザー音を「入」にしたい場合は、再度上記操作を行うと設定が反転します。
この設定は、本操作を再度行わない限り、電源を切ってもブザー音「入/切」の状態が記憶されます。

※出荷時はブザー音「入」が設定されています。

※出力確認音は、ブザー音「切」が設定されていても鳴ります。

故障かな？と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状	原因・対策
電源が入らない	電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていますか？
出力調節スイッチ、タイマースイッチを押しても変更できない	電床マット、導子もしくはアース接続コードは奥まで差し込まれていますか？ 電床マット、導子もしくはアース接続コードは正しい差し込口に差し込まれていますか？ ※詳しくはP.31をお読みください。 →「ピピッ」とエラー音が鳴ります。 ※ブザー音「切」が設定されていると、エラー音は鳴りません。
コードのカバーが傷んでいる	電源プラグやコネクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源プラグやコネクター、コードの一部が熱い	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する	

定期点検を受けましょう！

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に付属品は消耗品ですので、定期的に点検し交換してください。

※使用状態により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

●電源プラグ、コード類は、定期的に点検・交換してください。

⚠ 注意

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

お客様センター

ご不明な点がございましたら
お気軽にお電話ください。

TEL. **048 (254) 1019**

受付：平日（月～金曜日）
午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

●プラグ類が正しい差込口に奥まで差し込まれていないと、「ピピッ」とエラー音が鳴り、治療器は作動しません。正しくプラグが差し込まれているか、お確かめください。

※ブザー音「切」が設定されていると、エラー音は鳴りません。

高周波治療時



電床マット、
もしくは導子



負電荷治療時



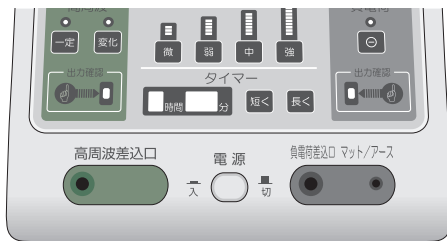
電床マット、
もしくは導子

アース接続コード
〈白・ピン型〉もしくは
アース接続コード
〈ホック型〉

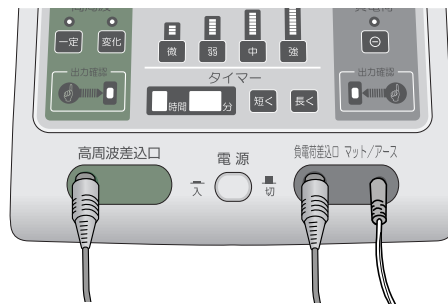


下の図のようになっていると、治療器は作動しません。上の図のように正しくプラグを差し込んでください。

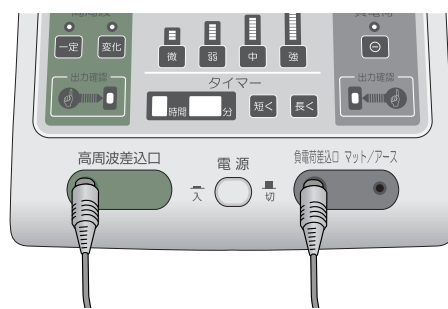
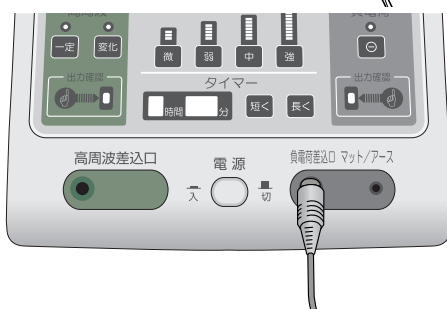
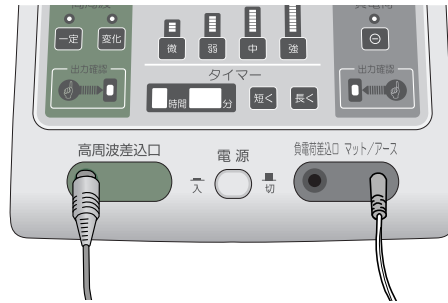
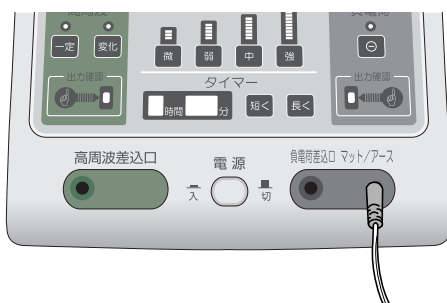
プラグが差し込まれていない



高周波と負電荷の両方の差込口にプラグが差し込まれている（高周波と負電荷の同時治療はできません）



負電荷治療時、いずれかの差込口にプラグが差し込まれていない

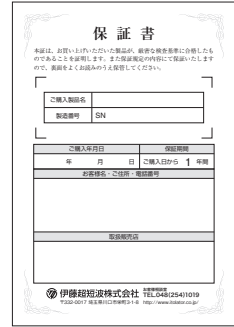


お客様安心サービス

保証書とユーザー登録カードについて

保証書について

修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。



ユーザー登録カードについて

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発等のために、弊社及び販売店が利用させていただきます。

ユーザー登録カード	
フリガナ	ご購入年月日
ご住所	年 月 日
生年月日	年 月 日
性別	男 女
職業	
電話番号	FAX
会社名	

アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

お客様センター TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステム ISO 13485、環境マネジメントシステム ISO 14001(工場)を取得しています。

健康セミナー

とってもあったかい集いにぜひご参加ください

健康に関するさまざまなテーマを取り上げ、情報を交換したり、健康相談をしたりして充実したひと時を過ごせるイベントです。どなたでもご自由に参加いただけますので、お気軽にお集まりください。

※詳しくは、お買い上げの販売店または、最寄りの営業所までどうぞ。

※各地でのセミナー開催スケジュールにつきましては、当社ホームページをご覧ください。



製造販売元  **伊藤超短波株式会社**

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8 ☎048(254)1015
<https://www.itolator.co.jp/>

代理店営業部：営業所 _____

東日本営業所（埼玉県）☎048(254)1016

西日本営業所（広島県）☎082(292)3320

販売店